



平成28年9月8日

各報道機関 御中

**山梨大学COCシンポジウム&中間報告会**  
**「地域の活性化 ～ ツーリズム による取組みから～」**  
特別講演・前九州国立博物館長 三輪 嘉六(みわ かるく)氏

山梨大学では、地域に根ざした大学として、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に採択され「山梨ブランドの食と美しい里づくりに向けた実践的人材の育成」事業に取り組んでおります。

今回は、「地域の活性化 ～ ツーリズムによる取組みから～」をテーマとして、シンポジウムと中間報告会を下記のとおり開催いたします。

シンポジウムでは、九州国立博物館の開設・運営に主導的な役割を果たし、多数の集客と地域に根差した取組など多くの実績を誇る 三輪嘉六氏（前九州国立博物館長）による講演と本学が取り組むツーリズムを紹介し地域の活性化を考えます。また、中間報告会では、農業分野を中心とする地域の課題を研究テーマとする成果発表のほか、学生がフィールドワーク実習を中心に地域の課題を解決する「ワインツーリズムの実践」等での活動について発表します。

当日は、観光、教育、大学関係者のほか、自治体職員、教育文化施設の職員、本学との技術交流を検討される企業・団体の皆さまなど、様々な職種の方々が参加する予定です。

なお、講演、シンポジウム・中間報告会は、どなたでも無料で参加いただけます。

つきましては、当日の取材並びに、貴社のイベント情報欄等でのご紹介について、よろしく願いいたします。

記

【日時】平成28年9月29日（木）13:30～17:20

【場所】山梨県立図書館（甲府市北口2-1-8）

【申込方法等】

1. 定員； 100名（どなたでも参加いただけます）  
※ 当日参加も可能ですが、事前のお申し込みをお願いします。
2. 申し込み； 以下のHPから、メール又はFAX
3. 参加料； 無料
3. 問合せ先； 山梨大学・地域未来創造センターCOC部門  
TEL 055-220-8129、FAX 055-220-8702  
<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/1094>



【日程】第1部：COCシンポジウム（会場：2階多目的ホール）

13:30～13:35 主催者挨拶

13:35～15:05 講演：三輪 嘉六（みわ かるく）氏

（前九州国立博物館長・本学客員教授）

演題：「九州国立博物館が果たした地域の活性化」

15:10～16:10 シンポジウム

ツーリズムによる里づくり—山梨大学の取組から—

奥田徹教授、大山勲教授、菊池淑人准教授

第2部：平成28年度COC事業中間報告（会場：1階イベントスペース東）

16:15～17:15 ポスター発表・質疑応答

- ・地方創生支援教育研究プロジェクトの発表
- ・教育プログラムの紹介
- ・地域課題解決科目の活動紹介

※詳細は別紙チラシをご覧ください。

〈問合せ先〉

山梨大学地域未来創造センターCOC部門

TEL：055-220-8129 FAX：055-220-8702

E-mail coc-event@yamanashi.ac.jp

〈広報担当〉

同 総務部総務課広報企画室

TEL：055-220-8005 FAX：055-220-8799

E-mail koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学COCシンポジウム & 中間報告会

# 地域の活性化 ～ツーリズムによる取組みから～

日時 / 2016年**9月29日**(木) 13:30-17:20 (受付・開場 13:00-)

会場 / 山梨県立図書館

定員  
100名

山梨大学は、「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、地域(山梨県)の活性化を図り、地域の発展に寄与することとしております。今回のシンポジウムは、ツーリズムをテーマとしました。九州国立博物館の開設から多くの見学者を集め、地域の活性化に貢献された三輪先生の講演と山梨大学が取組むツーリズムを紹介し、地域の活性化を考えます。また、後半は、農業分野を中心とする地域の課題を研究テーマとする研究成果等を発表します。観光、教育関係の皆様だけでなく、大学関係者、自治体職員、教育文化施設の職員、山梨大学との技術交流を検討される企業・団体の方など、様々な職種の方のご参加をお待ちしています。

## COCシンポジウム (会場:多目的ホール)

- ◆ 13:30-13:35 主催者あいさつ
- ◆ 13:35-15:05 講演

### 「九州国立博物館が果たした 地域の活性化」

三輪 嘉六 氏 山梨大学客員教授、前九州国立博物館長  
NPO法人文化財保存支援機構理事長



昭和13年2月生まれ。私立学校教員を経て、文化庁に勤務し、美術工芸課長、文化財鑑査官、日本大学文理学部教授、国立博物館九州国立博物館設立準備室長を歴任し、平成17年4月に九州国立博物館長に就任、平成27年3月まで同館長を務める。

- ◆ 15:10-16:10 シンポジウム

### 「ツーリズムによる里づくり -山梨大学の取組から-」

シンポジスト(ワインツーリズム)	奥田 徹 教授
” (ツーリズム)	大山 勲 教授
” (アグリツーリズム)	菊地 淑人 准教授

## 平成28年度COC事業中間報告 (会場:イベントスペース東)

- ◆ 16:15-17:15 ポスター発表・質疑応答(詳細裏面)
  - ◆ 地方創生支援教育研究プロジェクトの発表
  - ◆ 教育プログラムの紹介
  - ◆ 地域課題解決科目の活動紹介
- ◆ 17:15-17:20 閉会あいさつ

# 平成28年度 COC事業中間報告会

## ◆ポスター発表・質疑応答 (16:15~)

### 研究：地方創生支援教育研究プロジェクト

1 韮崎市穂坂地区周辺からのワイン用酵母の分離とその醸造特性に関する研究	標 智仁 (地域未来創造センター)
2 甲府の街活性化に寄与するブランド発酵食品創出のための研究開発	柳田 藤寿 (生命環境学域)
3 山梨県独自の伝統野菜に含まれるβカロテンの三次機能に関する研究	針谷 夏代 (医学域)
4 気象観測に基づくブドウの生育と成熟変化を予測する技術の開発	美濃 英俊 (工学域)
5 地域の資源と生物の機能を活用した農業の開発と教育のための研究	矢野 美紀 (生命環境学域)
6 やまなしバイオリソースを活用した『微生物ものづくり』	山村 英樹 (生命環境学域)
7 電気刺激法による革新的環境保全型農業の実現	鈴木 俊二 (生命環境学域)
8 県内所在の文化的景観の総合的把握と重点調査に基づく“景観を語る”観光教育プログラムの検討	菊地 淑人 (生命環境学域)
9 学生と地域の協働によるフットパス・環境配慮型交通を用いた観光コースの開発と先進地との交流	大山 勲 (生命環境学域)
10 「世界遺産化」の地域への影響の可視化：環境保全、ぶどう資源の差別化、居住の充足感を中心に	渡邊 幹彦 (生命環境学域)
11 文化施設を核としたエリア活性の試行 —民間ノウハウを導入した教育パッケージの協働開発—	秦 康範 (工学域)
12 伝統織物をグローバルに発信する如実的画像合成技術の開発	豊浦 正広 (工学域)

### 教育：教育プログラム紹介

13 地域課題解決人材育成プログラム紹介	地域未来創造センター
----------------------	------------

### 教育：地域課題解決科目の活動紹介

14 ワインツーリズムの実践	指導教員 奥田 徹 (生命環境学域)
15 アグリツーリズムの実践	菊地 淑人 (生命環境学域)
16 ツーリズムによる産業活性化・地域活性化	大山 勲 (生命環境学域)

## 参加申込み

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、**Faxまたは、E-mail**にてご連絡ください。

FAX送信先：**055-220-8702** (このまま送信ください。)

E-mail：**coc-event@yamanashi.ac.jp**

**申込み締切 / 2016年9月23日(金)**

※当日参加も可能ですが、なるべく事前の申込みをお願い致します。

## 会場 / 山梨県立図書館



## 参加申込書

氏名	所属・職名	電話番号	Eメール